

作品 No.259



生きものの“つぶやき”:

「これより、第5回ダンゴムシ会議を開始します！」

エッセイ:

朝、何気なく足下に目を向けてみると、横の塀にダンゴムシがたくさん集まっていました。思わず、「凄い！！」と隣の友達に話しかけてしまいました。たくさんのダンゴムシの集まる様子は、まるで会議でもしているよう。どんなことを話し合っていたのでしょうか。こんな会話が聞こえてきそうでした。「〇×公園落ち葉の利用について、皆さんの意見を…」そして、ダンゴムシの数の多さもそうですが、特に驚いたのは、その多様性です。黒色や灰色、茶色の個体、背中に金色の模様が入った個体など、本当に様々でした。なぜ、同じダンゴムシの中でも様々な色、模様の個体が生まれるのでしょうか？性差もそうですが、環境によっても変わっているのでしょうか？ダンゴムシは、私達に身近な生き物のようであり、まだまだ知りたいことがたくさんあるな、と感じた体験でした。今後の生物の学習を通し、この「知りたいこと」を「わかったこと」に変えていきたいです。(397字)

生きものの紹介:

オカダンゴムシ

ワラジムシ目で甲殻類の仲間。日本では広く土壤に生息している。落ち葉などを食べて、土を豊かにする分解者の役割も持つ。

撮影場所・日時:

お茶の水女子大学前・2019年6月20日

応募者の自己紹介:

1. 森 綾乃 (もり あやの) / お茶の水女子大学附属高等学校 2年
2. 漫画研究部、合唱部所属
3. 将来の夢: 地球科学に関する研究をすることです。

審査員よりひとこと

ユーモラスなタイトルの付け方とエッセイにある多様性の価値の自然な描写が素晴らしい。本当に会議している! ?